

今後のソフトテニスにおける地域移行モデル事業

【保護者用アンケート調査結果から】

成果と課題（○：成果，▲：課題，・：意見）

① 送迎について

- ▲開催場所によっては毎回の送迎の負担がかかるが理解できる。
- ▲送迎をしなければいけない距離なので毎週の送迎が難しいので、毎週するのは厳しいです。
- ▲送迎が必要なら参加できない子も出てくるので市全体の技術力アップには繋がらないと思います。
- ▲鈴鹿市の地域を何ブロックに分けて実施するのか。遠くまで通うとなると大変になる。
- ▲なるべく自分で移動ができる範囲で、受け身ではなく自発的に行動して、自信がつく活動であってほしいです。
- ▲回数が多くなると自転車でいけない箇所は送迎が負担だなと感じた。

② 費用について

- ▲一般のテニス教室より安価だとありがたい、安価で参加できるものにしてほしい。
- ▲中には料金を払ってまでは…と思われる方もいるので、なるべく安価で活動していただけると参加しやすくなると思います。
 - ・部活プラス技術向上のため習い事をしているので、これ以上の負担も正直厳しいです。
 - ・費用ですが、内容次第で 4000 円を超えてもよいと思います。今の部活動では、上達は期待できないので 2 箇所のテニススクールに行ってます。満足していますが、地域でテニスをご指導していただけるならテニススクールの回数を減らすことができるのでありがたいです。
 - ・頻度にもよるし、場所にもよる。しかし、部活というなら、頻度は多し、距離は近し、そして無料なのでは。
 - ・自由参加となると上達に差がうまれます。部費の一部として徴収すれば全員参加しやすくなると思います。

③ 指導について

- ▲中級と初級レベルが同じ練習内容だったので、中級の子にとっては物足りなかったのではないか。
- ▲学校の先生方と基礎の教え方などは統一していただける方がいいと思います。
- ▲指導者が一定で長期間の指導であれば効果も得られるかもしれないが、その都度変わるのであれば受講側は指導の仕方が人によって異なるので成果を得るのは難しいと思う。
- ▲何度も集合して 1 人の女の人が見本をみせる。そこの時短をすれば 3 時間でももっとできるはず。

▲自分で級を選択するのは難しいし、レベルが違いすぎても一緒に練習するのが難しいと思います。上級は、県大会出場経験者、中級は・・・などある程度の基準を決めてほしいです。

▲レベル別に分ける基準が曖昧でわかりにくい。

▲レベルを選ぶ際に遠慮してしまう子だと難しいなと感じました。

○▲少人数に分かれてしっかり見てもらえてありがたいと思いました。アドバイスも1人ずつマメに言っていただきたいと思いました。

○言葉での指導時間も長いと感じましたが、丁寧に指導していたので良かったと思います。

○途中見学させていただいたのですが、何より楽しそうに教わっていてすごく安心しました。今後も機会があれば参加させていただきたいと思います。

④その他

▲土日の練習が対象であれば、市がコーチを雇い各学校で外部コーチによる指導の方が良いと思います。

▲当日の急な欠席の連絡方法を書いていただきたいです。

▲学校での活動は基本平日のみ、土日は大会以外は活動なし。先生にもお休み必要です。

▲どのような内容を行う（行った）のか箇条書きでも良いので知りたいと思いました。

▲お金が出せて親の協力が得られる子だけが参加できる練習は、学校での部活の代わりとはならないのではないのでしょうか。

○学校の先生の負担は軽くなるし、子どもはテニスの基礎が学べるのでいいと思います。

○現状は、各学校の部活で指導ができる顧問、ほぼできない顧問と随分と差があり、また、外部顧問が居たり居なかったりと不平等さがあります。休日地域移行となると、どの学校も平等に指導が受けられるので是非お願いしたいです。

○中学校の部活動だけだと先生に指導してもらえない子もいます。今日みたいに指導してもらえたら、平日の部活動でも意識しながら練習できます。一生懸命やる子なら上達する子も増えてくると思います。

○初めてのことなので判断に迷いますが、やってみる価値はあると思います。他校の生徒と一緒にできるのは刺激になると思います。地域全体でのレベルアップを期待します。

○他校の選手と交流できる機会を与您いただき感謝しています。試合では敵である他校の選手とも仲良くソフトテニスをする事ができて、娘はとても喜んでいました。

○子どもはそれなりに満足していたようです。

○とても楽しかったと言っていました。

・本日はこのような機会をいただき誠にありがとうございました。

・現在は、経験者の先生がいる学校といない学校の差を大変感じます。今後はそれが解決でき、ある程度の練習、実力が向上できる取組ができればいいと思います。

・先生方の負担を軽減するためには仕方ないかもしれませんが、できれば学校の部活として、学校の団結力をもって今と同じように活動したいです。

令和6年度 地域移行モデル事業

実施期間：令和6年10月～令和7年3月 月1回程度実施

令和5年11月24日時点

種目・競技	実施主体	移行・連携	活動場所	形態
ソフトテニス	鈴鹿市ソフトテニス連盟	地域移行	(株)ヨシザワ, サンスポーツランド	拠点型活動(2か所)
柔道	大木中, 神戸中, 千代崎中	地域連携	神戸中, 大木中, 鈴鹿市武道館	合同部活動(1か所)
卓球	外部指導者等	地域移行	市内中学校	拠点型活動(4か所)
陸上	鈴鹿市陸上競技協会	地域移行	AGF鈴鹿陸上競技場	拠点型活動(1か所)
ハンドボール	三重花菖蒲入スポーツクラブ	地域移行		
剣道	鈴心館道場 鈴鹿中部道場	地域移行	平田野中学校(鈴心館道場) 神戸高校(鈴鹿中部道場)	拠点型活動(2か所)
バドミントン	外部指導者等	地域移行	平田野中学校	拠点型活動(1か所)
ソフトボール	鈴鹿市ソフトボール協会	地域移行	市内中学校	拠点型活動(1か所)
合唱		地域移行		拠点型活動(1か所)

※ 各種団体等と協議中の事項は空欄となっています。

※ 形態の()内の数は, 実施主体との協議で予定している活動場所の数を表しています。